

神奈川新英語教育研究会 春の一日研修会

新年度を迎えて、お忙し毎日をお過ごしのことと思います。今年度の研修会では、『感動する英語！』『挑戦する英語！』の著者である近江誠先生に名古屋から来ていただき、オーラル・インタープリテーションに関するご講演とワークショップをお願いすることができました。中学・高校の実践報告も魅力的なものを用意しました。これからの授業づくりのためのヒントをたくさんおみやげに持ち帰って下さい。

● 日時 5月8日(日) 10:00～17:00

● 会場 横浜市技能文化会館 大研修室 802

(京浜東北線関内駅南口下車徒歩5分)

● 日程 9:30～10:00 受付・事務連絡

10:00～11:30

「歌・スピーチで連携しても～中規模校での英語科の協力～」

榎本美津子さん(横浜市立中和田中学校)

中規模校だからこそ必要な「うちの英語科はこんなことをやっています。」と言いたくなるような共通した指導を歌や表現活動、校内スピーチコンテストなどの活動を紹介します。

11:30～12:30 昼食

12:30～14:00

「日本人英語学習者のための語彙サイズテスト(通称:望月テスト)」による

語彙習熟度測定結果から見える勤務校の語彙指導効果」

藤本文昭さん(横浜翠陵高等学校)

語彙力アップを英語科全体の目標に掲げ、2014年度春から年間2回(5月・2月)、「ワーズオリンピック」と称して望月テストを勤務校の高校生全員を対象に実施してきました。各学年で語彙サイズの目標値を示し、受験者には結果を個票にしてフィードバックしています。語彙サイズ最上位者には「オリンピック」のように全校集会でメダルを授与、上位数十名の名前を校内に掲示するようにしています。これらは日常の単語テストなどの語彙学習に生徒自身が意欲を持ち、自学自習の動機付けになるようするための「仕掛け」です。さてこの取り組みの結果はどうなったでしょう。他校での実証例や外部資格試験、入試結果などと比較しながら、この2年間の取り組みを検証してみます。